

## 平成29年度 新潟県立十日町高等学校シラバス

教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
国語	国語総合（現代文分野）	普通科・1年生	5（現代文2）
教科書	[主たる教材] 教科書 改訂版 国語総合（現代文編）（数研出版）		
副教材等	国語便覧(数研出版) 品詞別漢字マスター3000（尚文出版）		

## 1 科目の目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>○国語を適切に表現し的確に理解する能力を養う。</li> <li>○基本的な思考力と互いに伝え合う力を高める。</li> <li>○さまざまな文章に触れることで、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。</li> </ul>
--

## 2 科目の内容

<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 基礎事項の徹底（漢字や語法など基本的な知識を身につけ、正確な読み取りができるよう学習する。）</li> <li>(2) 読解力と思考力の養成（筆者の意見や他の生徒と自らの考えと比較しながら、自己の考えを深める。）</li> </ul>
--

## 3 授業計画

月	内 容	配当 時間	指導上の留意点
4月	随想「知の体力」（永田和宏） 評論「水の東西」（山崎正和） 小説「羅生門」（芥川龍之介）	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学ぶ」意味を考えさせる。</li> <li>・二項対立を用いた基本的な評論の読解方法を習得させ、柔軟な思考力を養う。</li> <li>・小説の構造、展開、主題の把握などの基本的な方法を学ばせる。</li> </ul>
5月	○1学期中間考査		
5月	評論「『わらしべ長者』の経済学」（梶井厚志） 詩「六月」「I was born」「サーカス」 表現「手紙の書き方」	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般論との対比を効果的に用いた文章の展開を学ばせ、身近な物事に対する新たな視点を導入させる。</li> <li>・手紙文の書式やきまりを知り、目的や相手に合わせた手紙文を書けるように指導する。</li> </ul>
7月	○1学期期末考査		
7月	評論「時間と自由の関係について」（内山節） 小説「富岳百景」（太宰治）	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抽象的なことがらから、物事の本質をとらえる力を身につけさせる。</li> <li>・近代の代表的な作品の読解を通して、小説への関心を深めさせる。</li> </ul>
10月	○2学期中間考査		
10月	評論「『間』の感覚」（高階秀樹） 評論「添削の思想」（外山滋比古） 表現 文章要約	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本と西洋の空間のとらえ方の違いを理解させる。</li> <li>・文章の構成をおさえ、問題提起と現状分析の内容を理解させる。</li> <li>・近代芸術の思想の問題点と添削の意義について考えさせる。</li> </ul>
12月	○2学期期末考査		
12月	評論「記録すること、表現すること」（川田順造） 評論「他者を理解するということ」（鷺田清一） 短歌 正岡子規、与謝野晶子 他	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西洋文化を取り入れた日本文化を見直すことで、その再評価や批判について考察させる。</li> <li>・「他者理解」とは何かを考えさせる。</li> <li>・韻文の表現方法を学ばせる。</li> </ul>
3月	○学年末考査		
計		70	時間（55分授業）

	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
評価の観点・規準	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査、課題テスト、授業内の小テスト、課題提出、ノート点検、平常授業を総合して評価する。</li> <li>・1、2学期は現代文、古典を別々に評価し、欠点補習や課題テストも別々に行い、学年末には国語総合として評価する。</li> </ul>				

## 5 担当教員

国語科教諭

## 6 担当者からのメッセージ

<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の述べていることをよく聞き、読むことで正確に理解できるようになること、その上でそれらと自分の感じ方を比べたり、自己の考えを深めたりすること、そして、他人に共感してもらえる表現の力を身につけること。地道に努力してその力を付けていきましょう。</li> <li>・授業等で扱うものに限らず、さまざまなジャンルの文章を数多く読むようにしてください。</li> </ul>
--